

語り部ニュース

21年度語り部活動
中間報告会開催

懇談会報告

平成二十一年十一月一日（日）午前十時三十分から舞鶴勤労福祉センターにおいて二十一年度中間期活動報告会が開催された。出席の会員の

皆様から今後の活動

に関して貴重なご意

見を頂戴しました。

本懇談会は会員各位

にお知らせしました

ように会の活性化を

図るためにはどうす

ればいいのかを話し

合っていたかどうかと

して計画したもので

す。

当日は十二名の会員

（一期生から五期生）

が参加され忌憚のな

い意見が交わされま

した。その懇談会の

ご意見を項目別にま

とめました。

【現状】

①毎月の担当表通り

に出席する会員が少

なくなってきた（会

員三十六名中実働は

十五〜六名程度）

②活動できる会員が

少ない

③市内外の小中学校

等から語り部出前講

座の要請が増えてき

ているが現状ではす

べてに対応できない。

④理事会等の活動内

容が会員一人一人ま

発行
NPO法人舞鶴・引揚
語り部の会
住所〒625-0133
舞鶴市宇平
舞鶴引揚記念館内
TEL0733-68-0568

で周知できていない。

⑤語り継ぎたい気持

ちは充分あるが、記

念館にいつてもどこ

に居たらいいのか、

何をしたらいいのか

分らない。

⑥新入会員との距離

が遠い、既会員の顔

も名前もわからない。

（これを受けて参加

十二名の自己紹介を

実施）

⑦会報への投稿者が

少なく、同じ人に集

中してきている。

【課題】

①活動に支障をきた

しているのはどの様

な理由があるのか。

担当になっている日

は必ず館へ行くとい

う気運を高める必要

である。

②来期は新役員選任

期であり、それを踏

まえて活動を推進し

ていく必要がある。

③案内料を徴収する

か今後検討していく

必要があるが、有料

とするとその分重圧

がかかってくるので

はと考える。（現在

完全ボランティア活

動但し暫定交通費支

給を検討）

④特定非営利法人の

原則を守り、市、府、

国等行政と連携すべ

き。

⑤市の窓口との懇談

が必要である。

⑥市を動かすには

「語り部活動」の活

発化が必要。

⑦会員の増員が絶対

必要である。

⑧展示品の説明には

巾を持たせたものが

必要。

⑨自分の思いを相手

に伝えることが重要

【なを】以上の内容

は懇談会の全体意見

としてまとめたもの

ではありません。参

加された皆さんの意

見を「現状」と「課題」

とに分類しただけで

大浦小学校
引揚げについて
の学習会

六年生四十名

講師・安田重晴氏

日時 九月二十八日

大浦小学校にて引揚げ体験者（シベリア抑留）安田重晴さんの体験談を聞きまし

た。五、六年生四十名と担任の先生方です。

飯ごう、水筒、スプー

ン、防寒着等々を展示

してその実物を見な

がらの説明で、寒さ

きなかった会員の皆

様も色々なご意見を

お持ちだと思えます。

この現状を踏まえ、

これらの課題をいか

にクリアーしていく

のかを皆で考えよう

ではありませんか。

谷口栄一記

や飢え、強制労働の体験に基くお話しをされました。寒さについてはマイナス二十度ほどの外気温では、「寒い」と言うより「痛い」と言う感覚で、特に屋根のないトイレでは二十秒も肌を露出すると凍傷にかかる。収容されたラーゲリーはソ連の四人用のラーゲリーで有刺鉄線は重に張り巡らされていた。食べ物、コーリヤン粥、あわ粥、が多く出て、一人飯ごうの三分の一程度の量でスプーンですくって食べるのです。固形の物は何も入ってなくて、時々キャベツの一枚か塩漬の練が入っていたら良い方だった。クロパンは耳のところを奪い合って食べた。一人一日三百五十グラムという事だったが、時には五十グラム程度の時もあった。（マツチ箱二箱分）労働では森林伐採に行つて、足場の悪い急な傾斜地での作業は命がけであった。切った木を谷へ落す

自宅の畑に生えてあるアカザの草を持って行くつもりです。近頃何処で耳にするのかあちらこちらから講演依頼が来ておりますが出来るだけお応えようと思っております。高浜の講演場所は聞いておりませんが、私には足がありませんのでと答えますと迎えに行くからとの事、当日会員の皆様も時間があれば応援に行つてあげてください。

場所、時間は原田さんに後日お尋ね下さい。【写真は九月の講演会の様子です】